

センター通信

「探究」と「対話」
「トライ&エラー」



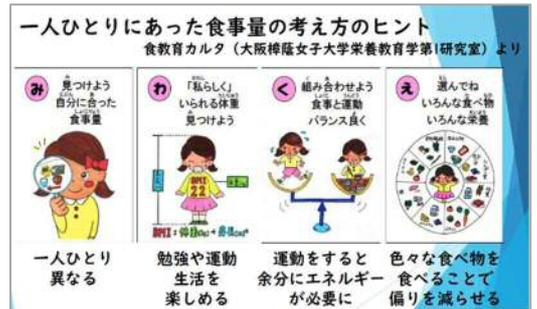
ライフスキル教育の重要性

—健康教育研修—

1月14日(火)健康教育研修では、「これからの学校教育における食育について—給食における食品ロスを事例として—」をテーマに大阪樟蔭女子大学の鈴木朋子教授にご講義いただき、特に「学校給食」「食育」「食品ロス」、そして「ライフスキル教育」について深く考える機会となりました。

研修では、子どもたちが食材の生産過程や栄養素について学び、自分にあった食事量を適切に見積もったり、食べ物が無駄にならないための工夫について考えたりするための取り組みを、事例を交えながら示していただきました。さらに、ライフスキル教育の視点からも、知識の習得にとどまらず、実践を通じて生活全体に活かせる力を育む食育の果たす役割は大きいものであるという学びがありました。

「家庭での食事づくりや食品ロス削減に対する意識を高めるために、学校教育で学んだことを家庭でも実践できるようにサポートすることが、食品ロス削減と食育の効果を高める鍵である」と鈴木先生も締めくくられていたように、学校・家庭・地域が連携した取り組みの推進に向けて、今回の学びをご活用ください。



【受講者アンケートより】

- ・家庭での食事には保護者の理解と協力が必要なので、お便りなどで、栄養に関する内容をわかりやすく発信していきたいと思いました。
- ・食品ロスをなくすことを目標にするのではなく、個々の適量を食べた結果が食品ロスに結びつくような取り組みを考えていきたい。
- ・給食がどのように作られているのか、残ったものはどうなるかなど「知る」ことから食品ロスを考える授業を考えたいです。

3学期が始まりました

教育支援センター(ふれあいルーム、ふれあいオンラインルーム)

1月9日(木)、ふれあいルームの3学期がスタートしました。朝から雪が降る寒い日でしたが多くのルーム生が元気に登室しました。冬季休業中も開室日を利用し、受験に向けて面接練習をするルーム生もいました。

3学期初めのふれあい活動では避難訓練を行い、非常時の避難経路や避難時の注意点、防災について日頃から大切にしておきたいことなどを確認しました。参加したルーム生は、職員の指示を聞いて速やかに行動するなど、避難訓練に真剣に取り組んでいました。ふり返りでは、「地震のアラートでみんなすぐに反応して机の下に隠れたり、避難も素早くできて良かった」や「防災の日のことや避難の時に気をつけることが知れて良かった」などの感想を共有していました。

ふれあいオンラインルームは、1月8日(水)に3学期がスタートしました。初日からいつもより多くのルーム生がログインし、学習やわくわくルームでの活動に取り組んでいました。また、2学期最終日の12月24日(火)には、クリスマス会を行いました。ビンゴゲームやワードウルフ、トーキングゲームなどを行い、参加したルーム生からは「楽しかった」「参加して良かった」などの感想がありました。教育メタバース空間だからこそできるルーム生どうしが関わり合える活動や、つながりを感じられる取り組みをこれからも進めていきます。

ふれあいルーム、ふれあいオンラインルームでは、3学期も子どもたちの成長につながる取り組みを実施していくとともに、保護者や学校と連携を図り、ルーム生をサポートしていきます。

